

新日軽上吊りゲート「ラインスライドA型」

お取扱いの手引き・施工マニュアル

新日軽上吊りゲート「ラインスライドA型」をお買上げいただき
ありがとうございました。

- お客様へ 未永くご使用いただくため、「お取扱いの手引き」をよく読んでいただき、正しいお取扱いをお願いいたします。
- 施工店様へ 未永くご使用いただくため、施工マニュアルをよく読んでいただき、正しい施工を、お願いいたします。

■注意事項（施工店様へ）

新日軽のアルミ商品はJISの表面処理規定を十分クリアーした商品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

- ①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面をキズつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と**銅板やラス等**の異種金属が接触しないようにしてください。
接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理してください。
- ⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦みだりに改造・変更は避けてください。

※この施工マニュアルは、工事完了後お客様にお渡しください。



新日軽株式会社

■末永くご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。
(このマニュアルは、大切に保管してください。)

日常のお手入れについて

- 1 この上吊りゲート「ラインスライドA型」はアルミ製ですが、いつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくため時々、布で表面の汚れを拭き取ってください。
- 2 永い間使用しますと、施錠部や車輪部が緩んだりする場合があります。組立施工マニュアルを見て調節してください。(プラスドライバー・スパナでできます。)
- 3 扉の開閉をよりスムーズにするため回転部の車軸部に適時、注油してください。

アルミ製品のお手入れのお願い

- 1 アルミのサビの原因は・・・・・・
大気中の汚れが最大の原因です。ほこり、ばい煙(すす)鉄粉などの金属粉、亜硫酸ガスなどの排気ガス、および海塩などです。これらがアルミの表面に付着したまま長く放置されると、湿気や雨水によって影響を受け、腐食させてしまう場合があります。

- 2 お手入れはカンタン
年に数回の水洗いと空ぶきだけでも効果的です。
ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、よりお手入れの回数を増やしてください。汚れが軽い場合は、やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。

■地域別お手入れ回数

地 域	回 数
状況 臨海工業地帯	年に2~3回
工業・商業・温泉地帯	年に2回
海岸・街道地帯	年に1~2回
田園・山間地帯	年に1回

- 3 汚れが目立つ場合
中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

- 4 お手入れの際の注意
 - お手入れには布やスポンジなどの柔らかいものを使用してください。金属ブラシ、金ペラ、スチールウール、目の荒い紙ヤスリ等はさけてください。
 - 小石、砂などが付着したまま表面をこするとキズが付きます。あらかじめ取り除いてください。
 - 洗剤は中性洗剤を薄めてご使用ください。酸性洗剤やアルカリ性洗剤はアルミの表面を侵します。
 - 角や隅に洗剤が残らないようにしてください。放置しますと腐食の原因となります。

●安全にお使いいただくために必ずお守りください

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

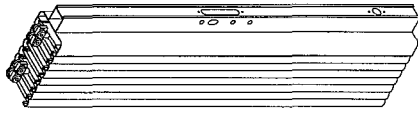
絵 表 示	意 味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「必ず守っていただくこと」を示しています。

ご使用上の注意とお願い

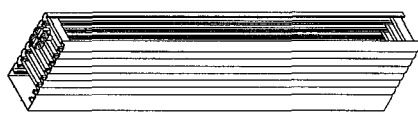

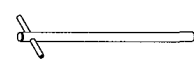
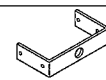


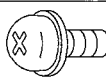
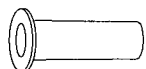


- 通常使用されない場合は必ず施錠してください。また落し棒も同時に下ろしてください。
- 開閉の時は必ず落し棒を上げてから操作してください。
- 開閉時には手足・衣服など挟まないように、注意してください。また、人・物等障害物が無い事を確認してください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかたりしないでください。
- 開閉は必ず引手を持って行ってください。
- 扉をたたんだ時、自走しないよう落し棒を下ろしてください。
- ① 開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ① 年に一回ネジやボルトのゆるみがないか確認してください。

■ 内容明細

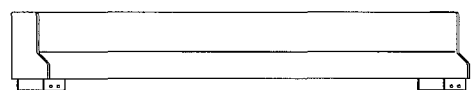
■ 施錠扉セット

部品名	略図	数量
施錠扉		1台

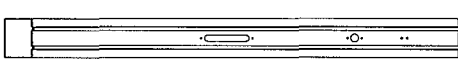
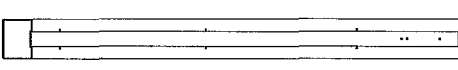
■ 吊り元扉セット

部品名	略図	数量	
吊り元扉		1台	
セ ツ ト 部 品	落としカバー		2本
	落とし棒		1本
	落としホルダー		2個
	ノブボルト		2個
	十字穴付 トラスタッピンネジ	 d4×12L	14本 (予備2本)
	座金組込み 十字穴付ナベ小ネジ	 M4×12L	8本
	落とし棒受け		1本
	ストレートブッシュ2		2枚
	十字穴付 トラスタッピンネジ	 d5×16L	7本 (予備1本)

■ 上枠レールセット …上枠（両開き用）は、約65kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略図	数量
上枠レール		1本




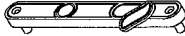



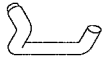








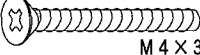


■ 柱セット（片開き）

部品名	略図	数量
戸当り柱		1本
吊り元柱		1本













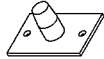







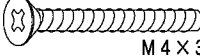
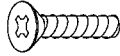

■ 柱セット（両開き） …柱は、約28kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略図	数量
吊り元柱		1本

■ 部品箱セット (片開き)

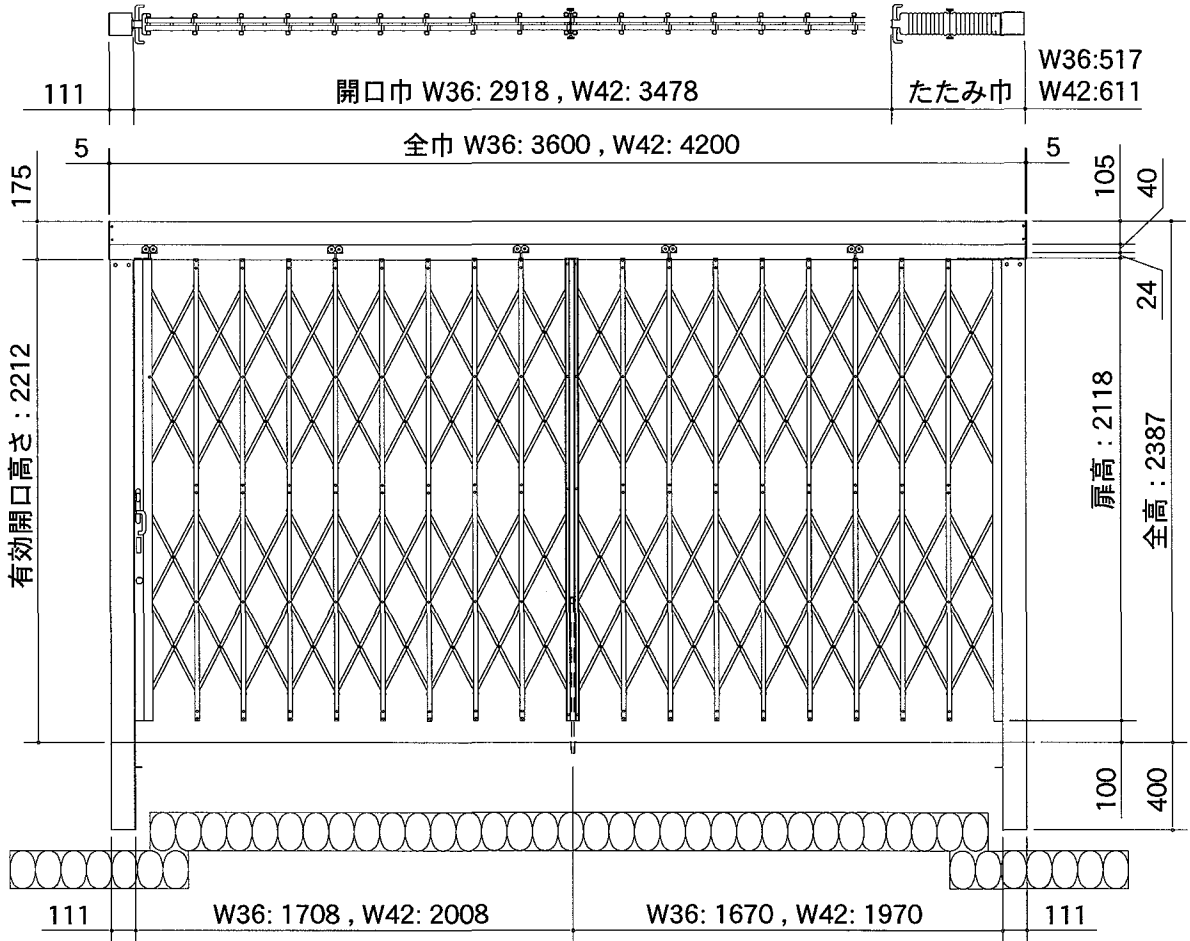
部品名	略図	数量	部品名	略図	数量
フロント		1個	錠本体		1個
シリンダー側外部化粧座		1個	シリンダー側内部化粧座		1個
シリンダー		1個	鍵		3個
ハンドル (角芯付)		1個	ハンドル (角穴)		1個
取手スペーサー		2個	外れ止め固定金具 (掛け)		1個
落し棒受け		2本	アンカー金具		2本
座金組込み六角ボルト	 M8×20L	8本	十字穴付トラス小ネジ	 M5×16L	4本
十字穴付皿小ネジ (フロント用)	 M4×12L	2本	取付施工マニュアル	 取説	1刷
十字穴付皿小ネジ (化粧座用)	 M4×35L	2本	十字穴付皿小ネジ (シリンダー用)	 M4×18L	1本
			十字穴付丸皿小ネジ (ハンドル用)	 M4×10L	1本

■ 部品箱セット (両開き)

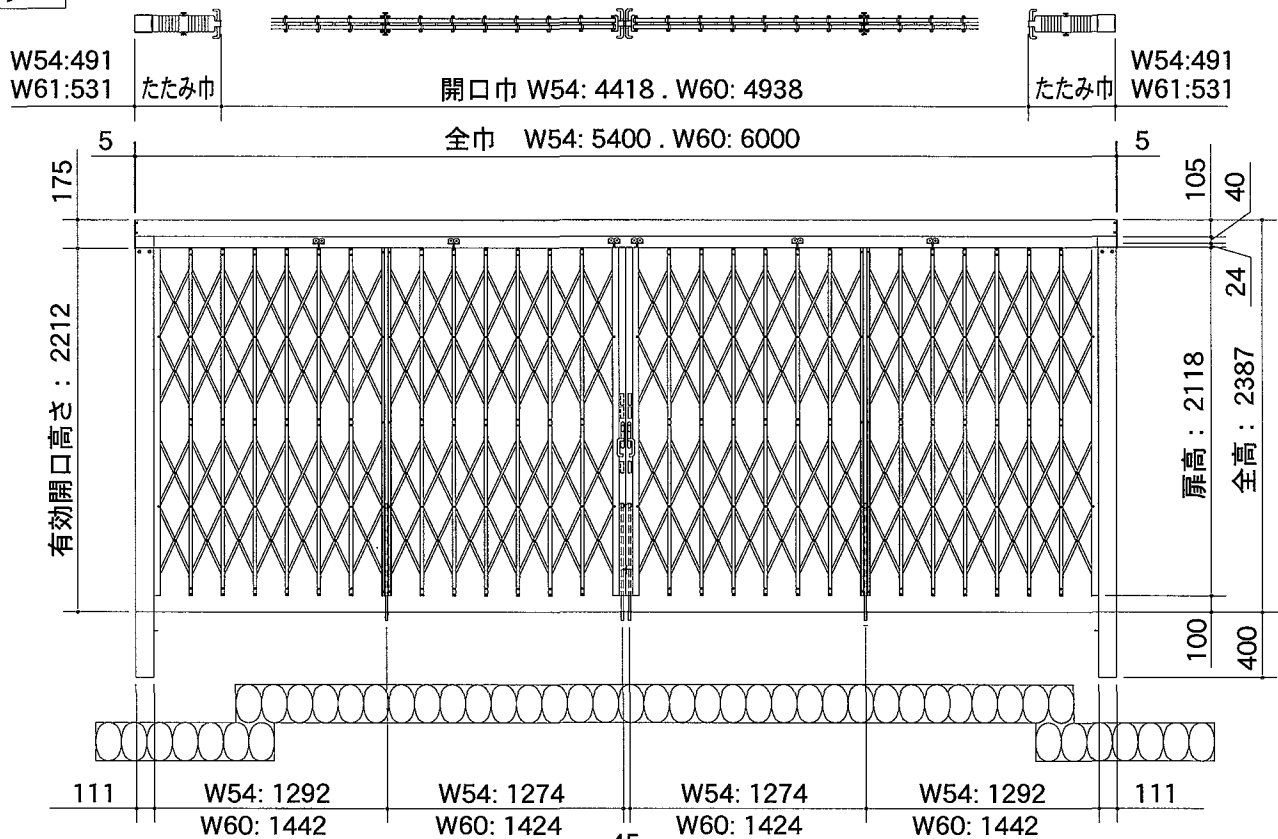
部品名	略図	数量	部品名	略図	数量
フロント		1個	錠本体		1個
シリンダー側 外部化粧座		1個	シリンダー側 内部化粧座		1個
固定側 外部化粧座		1個	固定側 内部化粧座		1個
シリンダー		1個	鍵		3個
ハンドル (角芯付)		2個	ハンドル (角穴)		2個
取手スペーサー		4個	錠受け		1個
外れ止め固定金具 (掛け)		1個	外れ止め固定金具 (受け)		1個
落し棒受け		4本	アンカー金具		2本
座金組込み六角ボルト	 M8×20L	8本	十字穴付トラス小ネジ	 M5×16L	4本
十字穴付皿小ネジ (フロント用)	 M4×12L	4本	取付施工マニュアル	 取説	1刷
十字穴付皿小ネジ (化粧座用)	 M4×35L	4本	十字穴付皿小ネジ (シリンダー用)	 M4×18L	1本
			十字穴付丸皿小ネジ (ハンドル用)	 M4×10L	2本

■ 施工納まり図

片開き



両開き



施工手順

1 はじめに

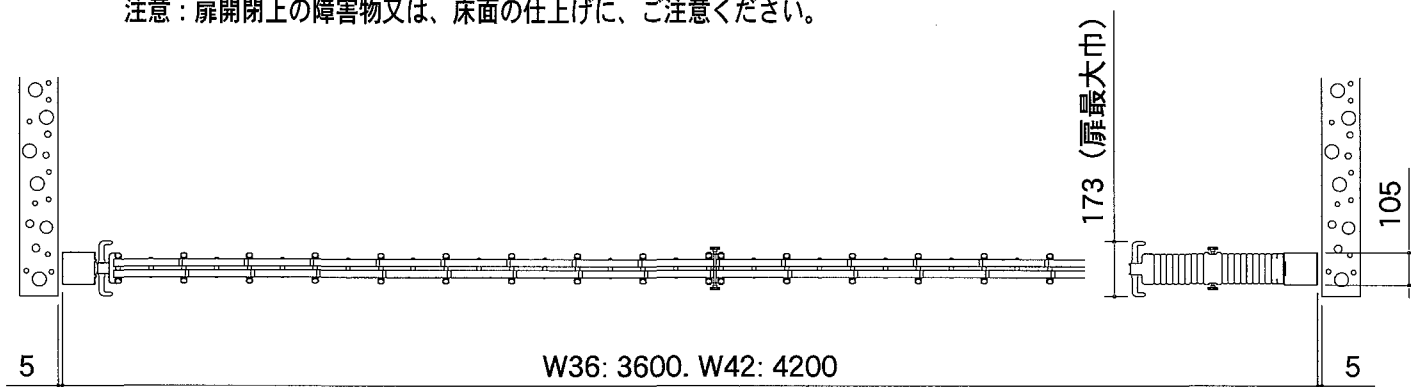
1. 下記を参考に、強度、開閉動作、地盤等を考慮して施工してください。
2. 障害物等により、扉の開閉に支障のない場所に設置してください。
3. 床面の仕上げは本体のたたみ巾も考慮に入れ、水平に仕上げるか水勾配等を考慮してください。
4. 施工納まり図を参考に基礎穴を掘り、所定の仕上がりになる様捨てコンを打ち、水平レベルを出してください。

■ 基礎工事について

1. 地盤が軟弱な場所、台風が頻繁に飛来する地区、特に風の強い場所などのような施工現場では基礎を大きめに設けてください。
2. 柱基礎には必ず割栗石を敷き、十分につきかためてください。
3. 地下埋設物には注意してください。

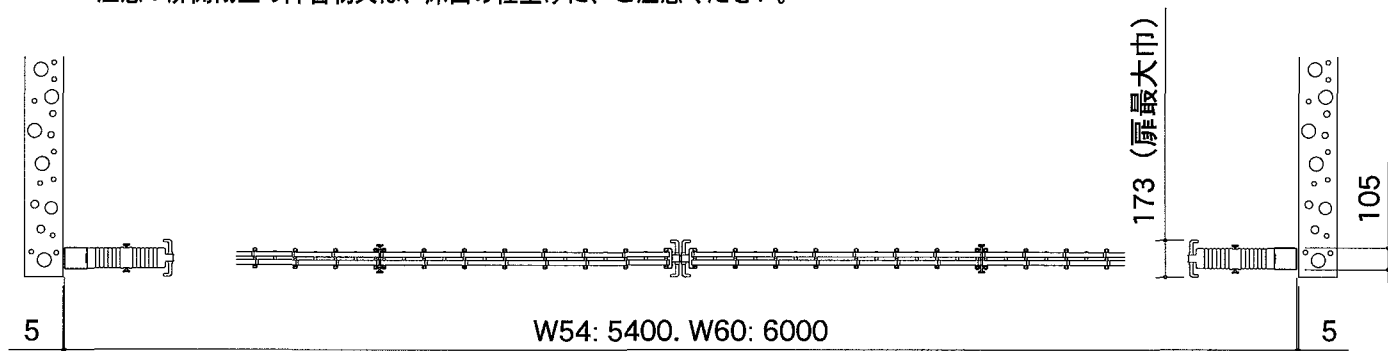
片開き

注意：扉開閉上の障害物又は、床面の仕上げに、ご注意ください。



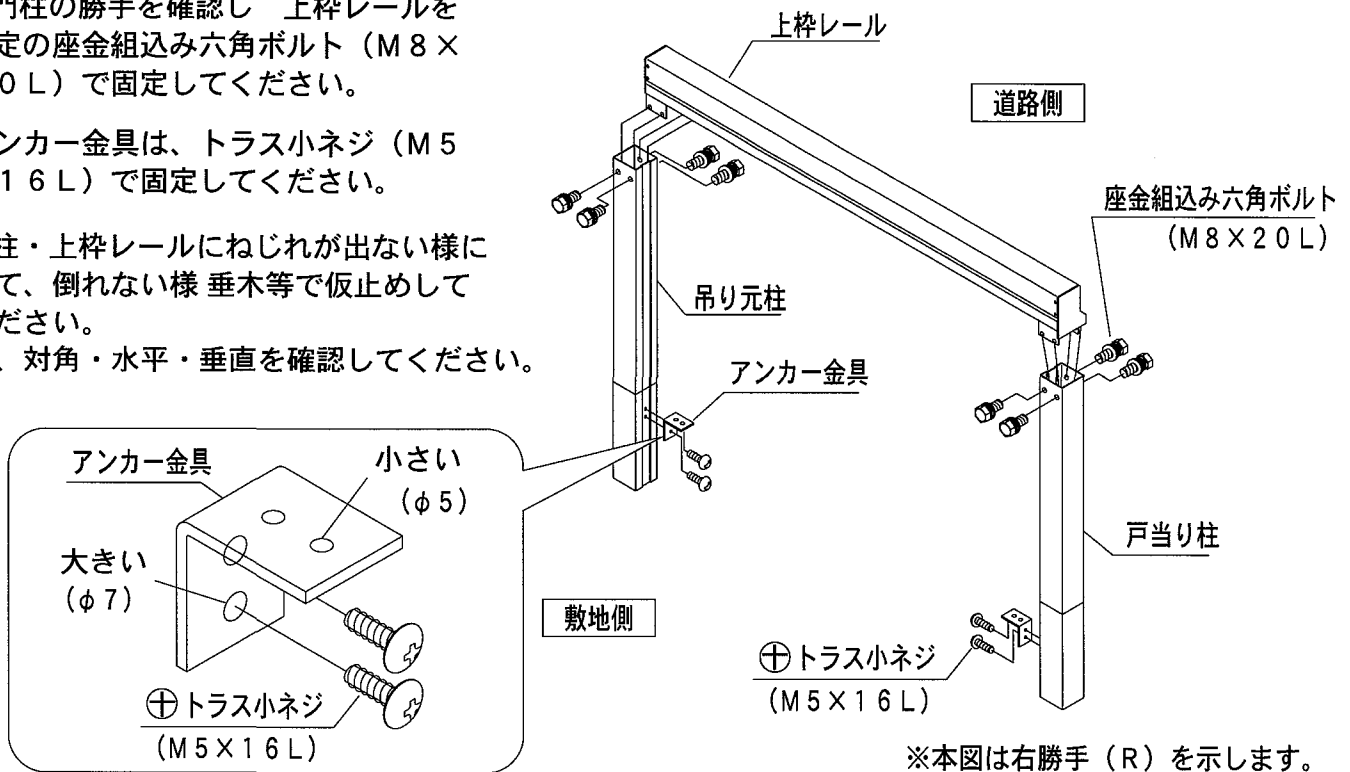
両開き

注意：扉開閉上の障害物又は、床面の仕上げに、ご注意ください。



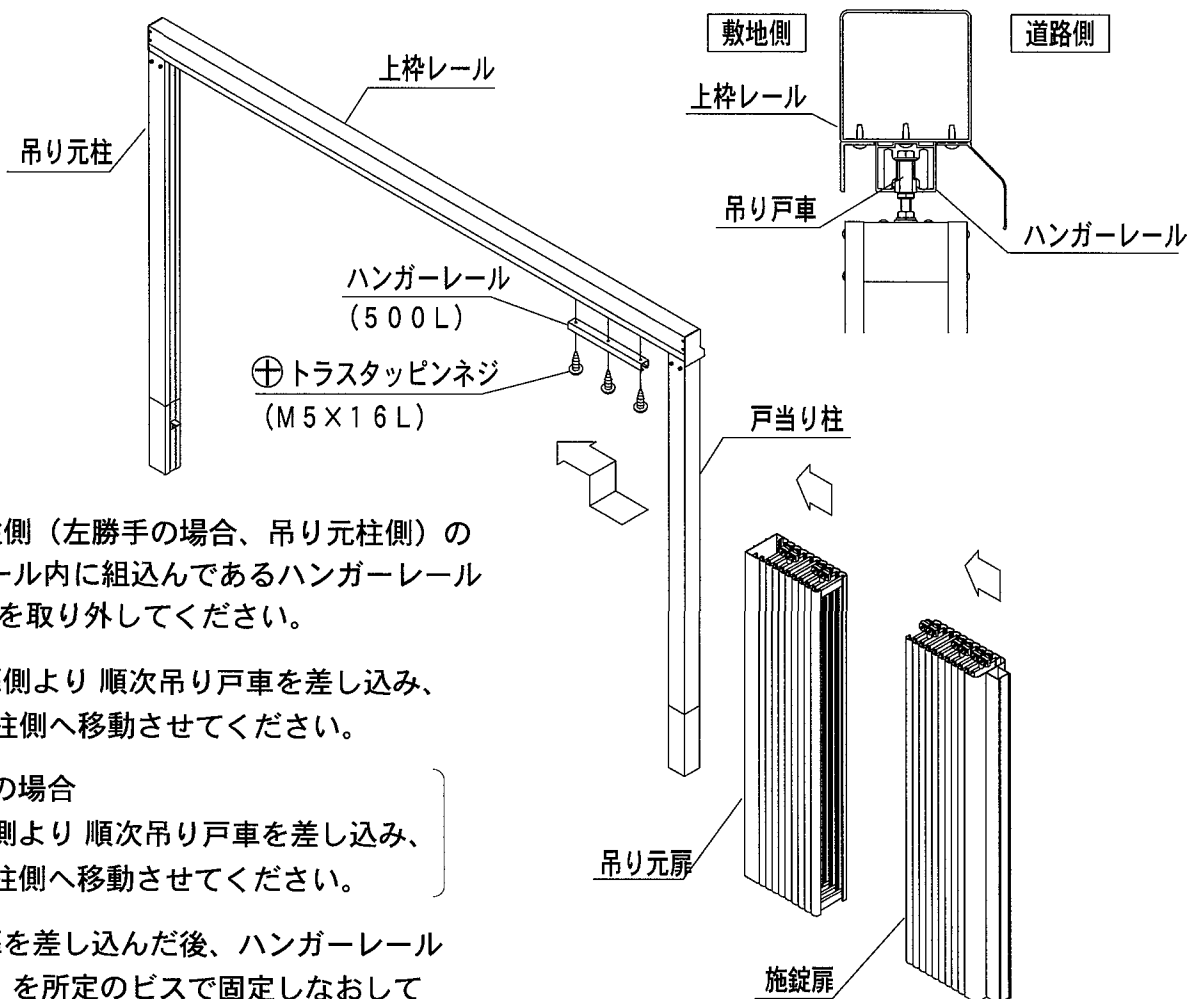
2 門柱・上枠レールの組立

- 1, 各門柱の勝手を確認し 上枠レールを所定の座金組込み六角ボルト (M8×20L) で固定してください。
- 2, アンカー金具は、トラス小ネジ (M5×16L) で固定してください。
- 3, 門柱・上枠レールにねじれが出ない様に建て、倒れない様 垂木等で仮止めしてください。
又、対角・水平・垂直を確認してください。



※本図は右勝手 (R) を示します。

3-1 扉の吊り込み (片開き)



- 1, 戸当り柱側 (左勝手の場合、吊り元柱側) の上枠レール内に組込んであるハンガーレール (500L) を取り外してください。

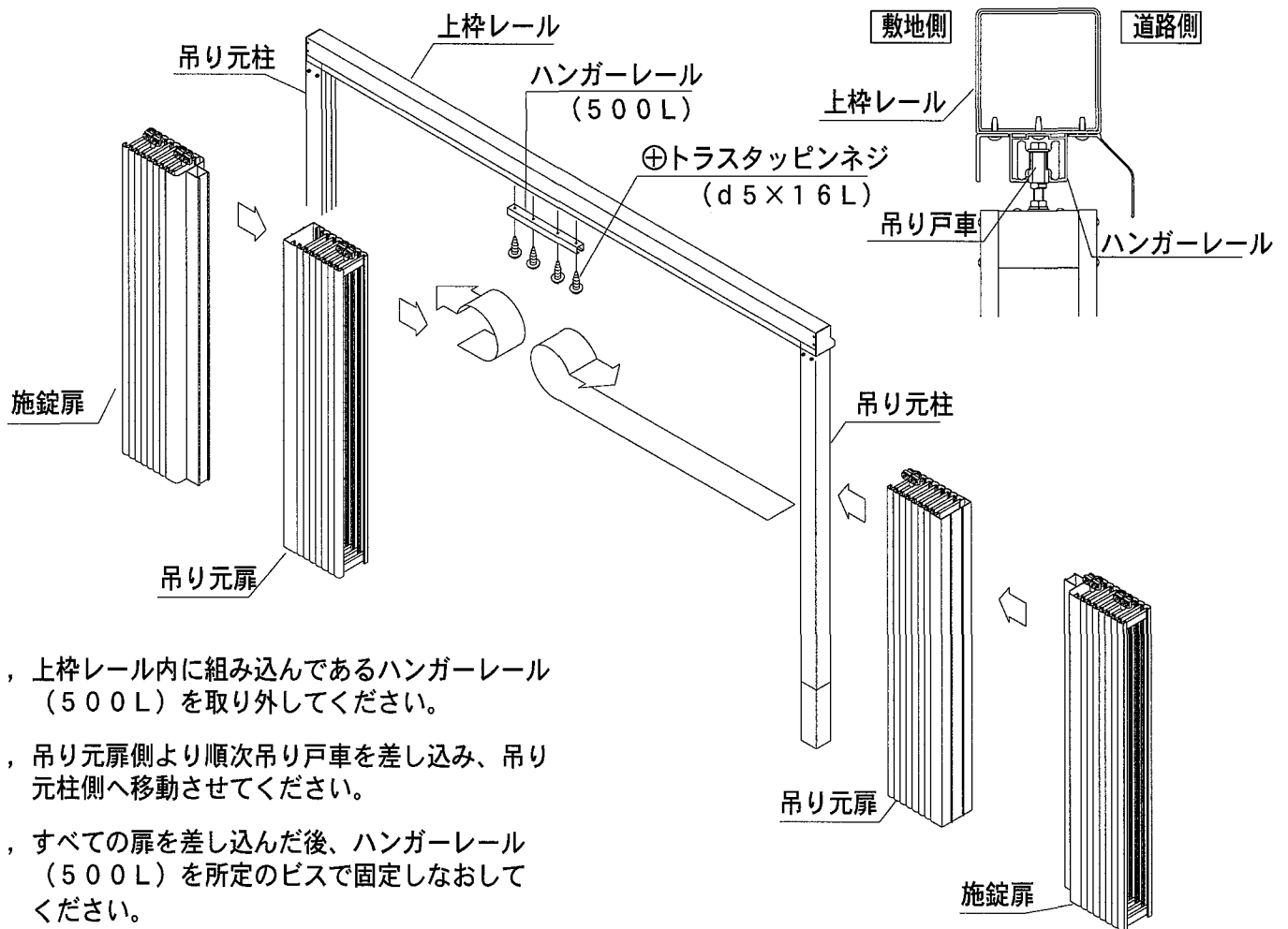
- 2, 吊り元扉側より 順次吊り戸車を差し込み、吊り元柱側へ移動させてください。

左勝手の場合
施錠扉側より 順次吊り戸車を差し込み、
戸当り柱側へ移動させてください。

- 3, すべて扉を差し込んだ後、ハンガーレール (500L) を所定のビスで固定しなおしてください。

※本図は右勝手 (R) を示します。

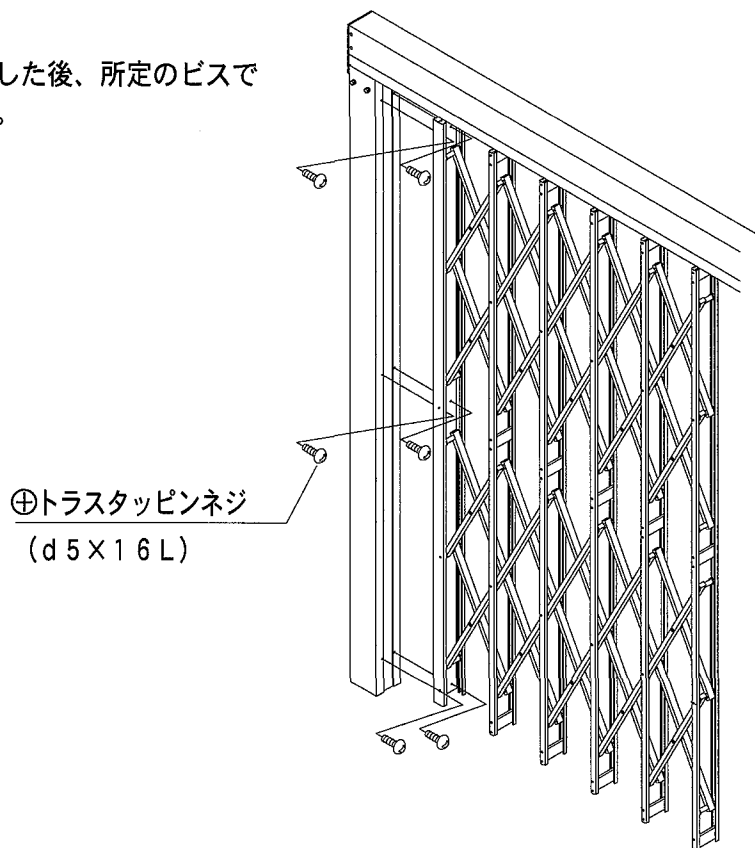
3-2 扉の吊り込み (両開き)



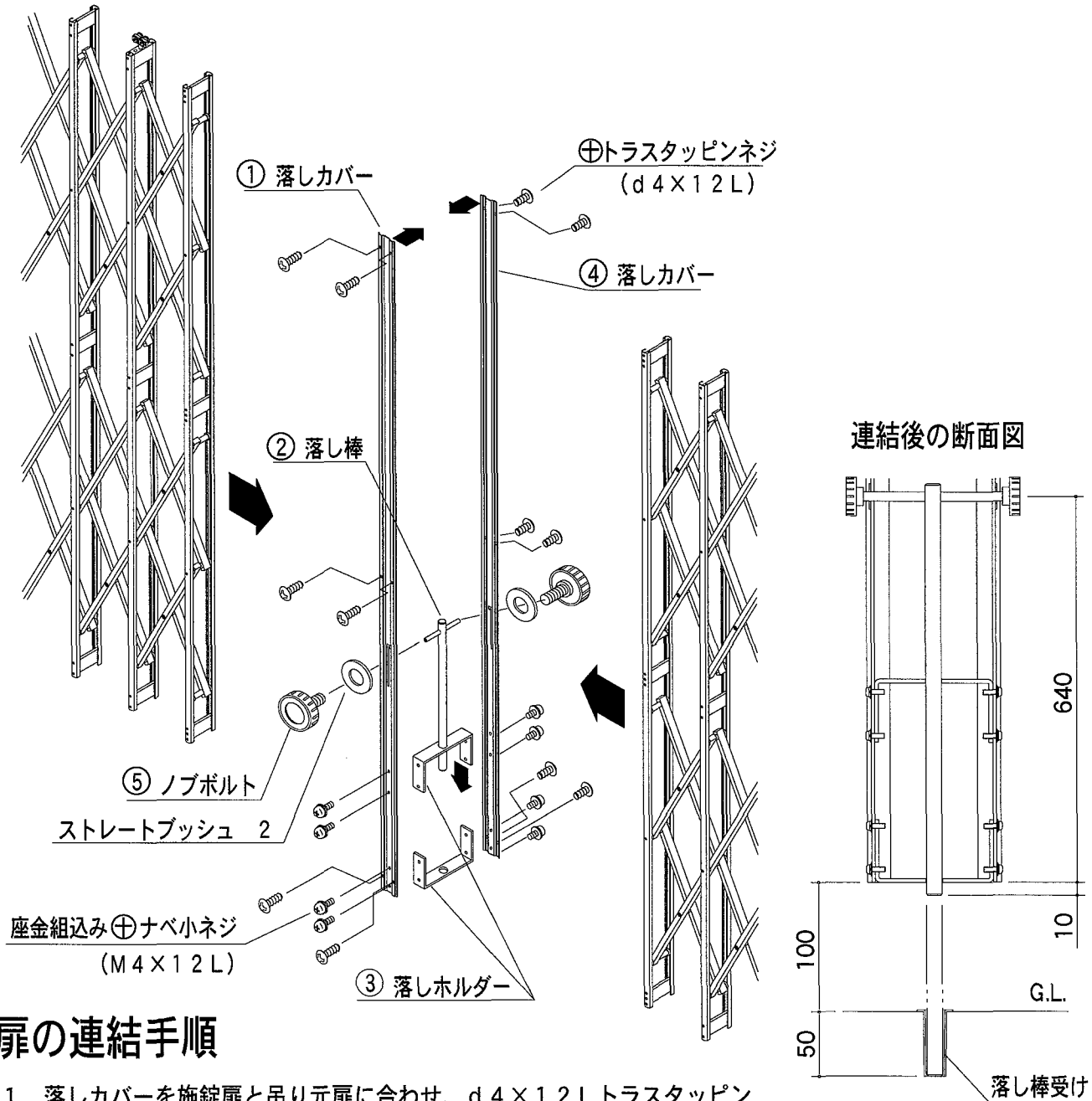
- 1, 上枠レール内に組み込んであるハンガーレール (500L) を取り外してください。
- 2, 吊り元扉側より順次吊り戸車を差し込み、吊り元柱側へ移動させてください。
- 3, すべての扉を差し込んだ後、ハンガーレール (500L) を所定のビスで固定しなおしてください。

4 吊り元扉の取り付け

- 1, 扉を閉じた状態にした後、所定のビスで固定してください。



5 扉の連結

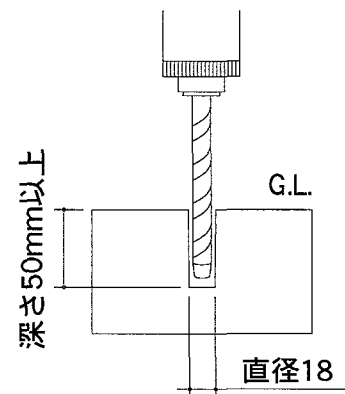


扉の連結手順

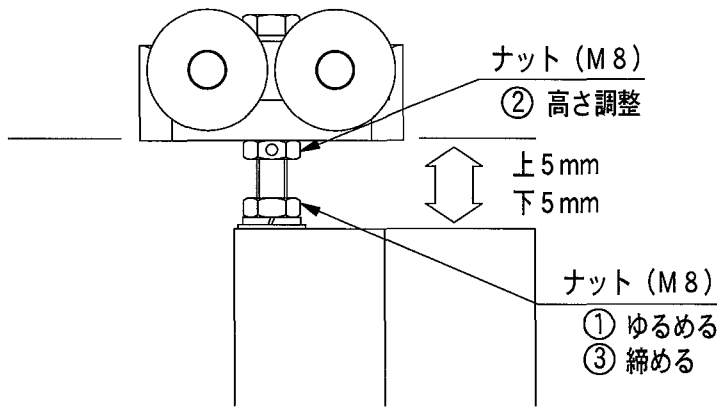
- 1, 落としカバーを施錠扉と吊り元扉に合わせ、d 4 × 1 2 L トラスタッピンネジで固定してください。
- 2, 落とし棒を落としカバーの溝と落としホルダーの穴にあわせてセットしてください。
- 3, 連結した落としカバーに落としホルダーをM 4 × 1 2 L 座金組込みナベ小ネジで取り付けてください。
- 4, もう片方の落としカバーを施錠扉と吊り元扉に合わせて、d 4 × 1 2 L トラスタッピンネジで固定して、落としホルダーもM 4 × 1 2 L 座金組込みナベ小ネジで固定してください。
- 5, ノブボルトにストレートブッシュ 2 を通し、両側から落とし棒に取り付けてください。

落とし棒受けの埋込み

- ▲注意** 扉を閉じた状態で現場に合わせて、落とし棒受けを埋め込んでください。先端落とし棒の落とし棒受けも同様に埋め込んでください。



6 吊り戸車の高さ調整



召し合わせ部のすきま調整が必要な場合は、各吊り戸車で上5mm、下5mmまで調整できます。

(片開きの召し合わせ部は上2mm、下2mm)

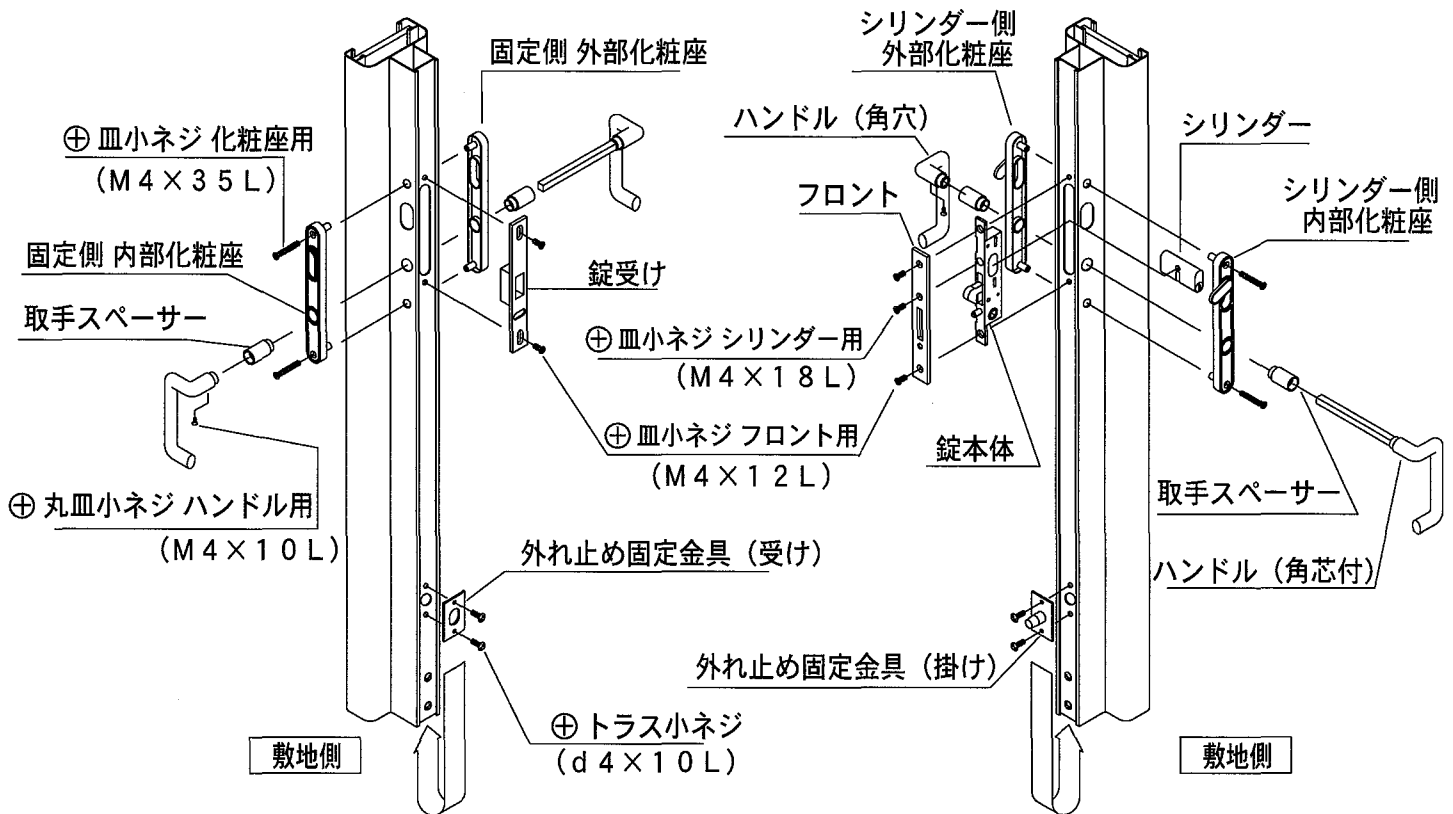
調整方法は、左図の番号順にしたがって調整してください。

7 施錠部の組立

施錠扉 (受け側)

道路側

施錠扉 (掛け側)



施錠扉 (受け側)

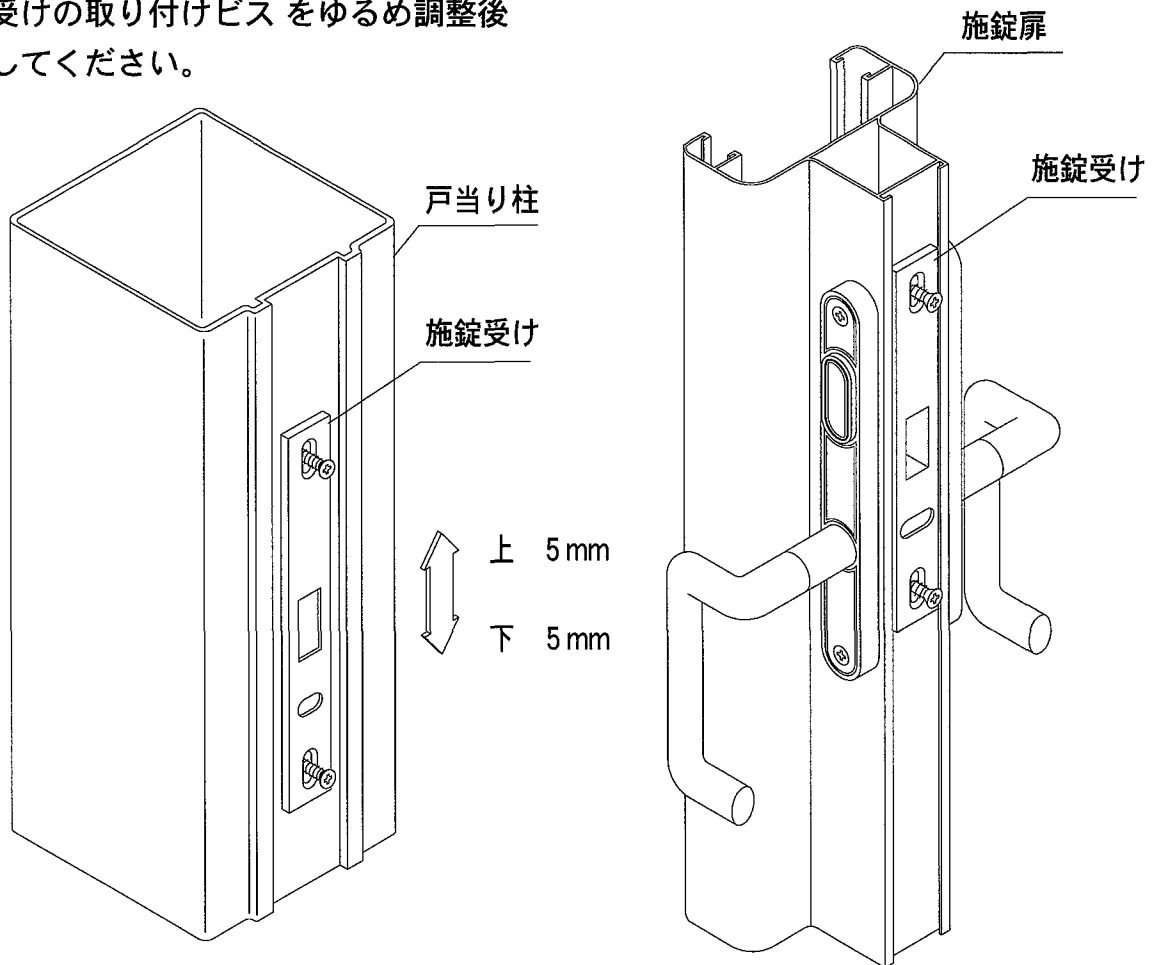
- 1, 錠受けを所定のビスで固定してください。
- 2, 道路側より 固定側外部化粧座 を差し込み、敷地側より 固定側内部化粧座 を所定のビスで固定してください。
- 3, ハンドルに取手スペーサーを通し、所定のビスで固定してください。
(ハンドルは勝手により差し込み側が異なります。)
- 4, 本体下部のビスを4カ所外し、外れ止め固定金具を扉下部より差し込み再びビスで固定してください。

施錠扉 (掛け側)

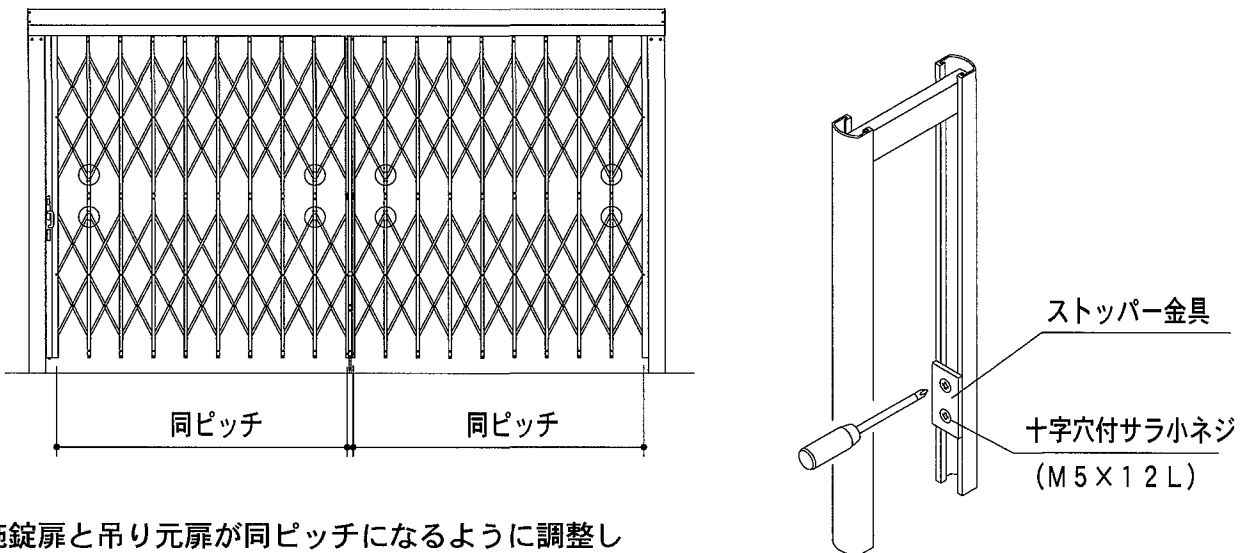
- 1, 錠本体をフロントにセットし、施錠扉に差し込み側面よりシリンダーを通し所定のビスで仮止めしてください。
- 2, 道路側より シリンダー側外部化粧座 を差し込み、敷地側より シリンダー側内部化粧座 を所定のビスで仮止めしてください。
- 3, ハンドルに取手スペーサーを通し、所定のビスで固定してください。
(ハンドルは勝手により差し込み側が異なります。)
- 4, 本体下部のビスを4カ所外し、外れ止め固定金具を扉下部より差し込み再びビスで固定してください。
- 5, ハンドル 及び 錠の作動具合を確認し、それぞれのビスを固定してください。

8 施錠受けの高さ調整

施錠合わせ等高さ調整が必要な場合には、施錠受けの取り付けビスをゆるめ調整後固定してください。



9 扉の開きピッチ調整



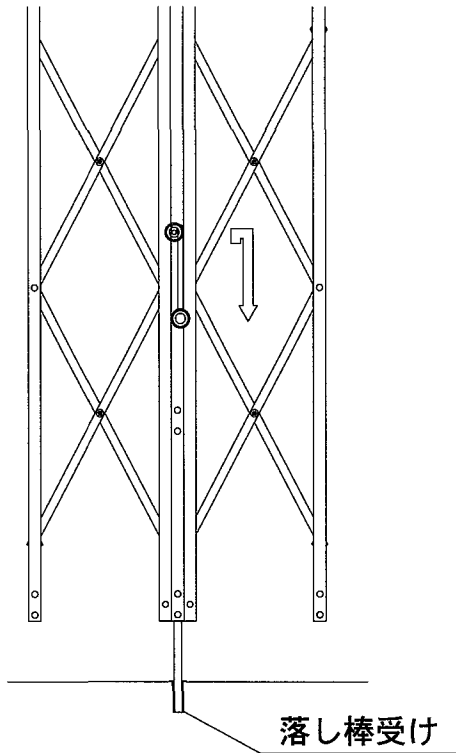
施錠扉と吊り元扉が同ピッチになるように調整し
ストッパー金具のビスをゆるめ調整し固定してください。

(施錠扉8カ所・吊り元扉8カ所)

⚠ 注意

扉の開きピッチの調整ができていない場合は、破損の原因になる恐れがあります。

10 落とし棒の操作方法



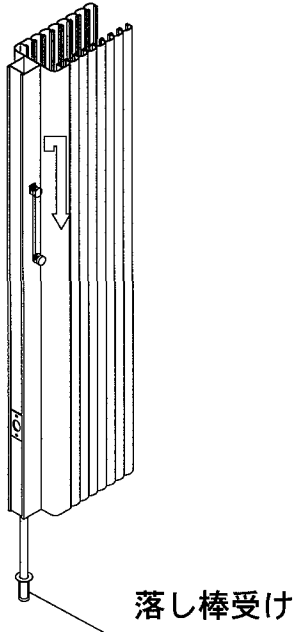
⚠注意 扉を開ける時には、必ず落とし棒を上まで上げてください。

⚠注意 扉を閉じた時には、必ず落とし棒を下ろしてください。
風等にあおられて破損の原因となります。

- 1, この落とし棒は、閉じた状態を固定する為のものです。落とし棒受けを施工納まり図を参考に現物合わせにて所定の位置に埋め込んでください。

(9ページの 落とし棒受けの埋込み を参照してください。)

11 先端落とし棒の操作方法



⚠注意 扉をたたんだ時には、必ず落とし棒を下ろしてください。

風等にあおられて、自走し車等を傷つける恐れがあります。

- 1, この落とし棒は、たたんだ状態で自走しないよう維持する為のものです。

落とし棒受けを、現物合わせにて 所定の位置に埋込んでください。

(9ページの 落とし棒受けの埋込み を参照してください。)

- 2, 両開きの場合は、閉まっている場合も 落とし棒を下ろしてください。

おわりに

以上で取り付けは完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために 施工完了後に、作動、錠の掛かり具合等を確認後、使用方法・使用上の注意等をお客様に説明し、この組立施工マニュアルをお渡しください。